

チャレンジ！！オープンガバナンス 2016 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注)	No.	タイトル	自治体名
	53	新三田駅周辺の活性化～武庫川に特化して～	三田市
アイデア名 (公開)	武庫川ひろばはもりだくさんだ！～自然・憩い・食～		

(注) 地域課題タイトルは、COG2016 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	三田丸		
チーム属性 (公開)	☐ 1. 市民によるチーム ☐ 2. 学生によるチーム ☒ 3. 市民、学生の混成によるチーム		
代表者情報	氏名 (公開)	田畑祐起	

※ 公開条件について

次ページ以降の「2. アイデアの説明」でご記入いただく内容は、内容を確認した上で、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

(注意書き)

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2016_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2016 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_padit_cog2016@pp.u-tokyo.ac.jp

<公開非公開など>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
4. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。
5. 「アイデアの説明」中に、文章、写真、図画などで応募したチーム以外に知的所有権が属する箇所がある場合には、法令に従った引用や知的所有権者の許諾を得るなどをした旨をそれぞれ注として書いてください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。

<チームメンバー名簿>

6. チームメンバーは別紙のエクセルファイルに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は COG 事務局からは非公開です。詳細は別紙をご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

データや資料を活用して課題の具体化とその解決につながるアイデア（公共サービス）のストーリーを語ってください。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれがする、何をする、どこでする、いつする、どのようにするものなのかを考えて、各要素を入れて内容を描きストーリーを整理していくとよいでしょう。以下の欄内でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

アイデア： 駅周辺の魅力を知ってもらうために、近くの**武庫川に広場**を作り、**食イベント**を開催して認知度を上げる。

	武庫川広場	食イベント
何を	武庫川の堤防沿いを整備し、広場として開放する。 ★合わせて行う★ ・その周辺に花を植え、彩をつくる。 ・冬に合わせてイルミネーションも展開 ・各施設も完備 （トイレ、ベンチ、水位掲示板、広いスペース、浅瀬）	三田の農産物を生かしたレシピを開発・料理を出店で提供。 ★合わせて行う★ ・SNS でこのイベントを投稿した人にビンゴカードを進呈 ・三田の農産物を自分で組み合わせてオリジナルの三田丼制作イベント
誰が	学生を中心としたボランティア	学生・料理サークルに所属している人・料理人（三田ホテル）その他料理に興味がある人
ターゲット	子供・親子連れ	多世代
どこで	武庫川	武庫川
いつ		春夏秋冬各 1 回

武庫川広場イメージ図（左がイメージ、右が現在の武庫川）



(2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアにするのか）を、それをサポートする数値データ（実績、統計やアンケートなど数字であらわされるもの）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつご記入ください。数値データや証拠は出所を明らかにしてください。以下の 2 ページの欄内におさまるようお願いします。

○なぜ新三田駅周辺の武庫川に広場を作るのか？

①「新三田駅という存在」

新三田駅は平成 26 年の 1 日の平均利用客数は 14639 人(注：ポケット統計さんだ平成 26 年 3 月発行より)さらに新三田は大阪から電車 1 本で行けるという利便性もあり、集客が見込める

しかし現状は通学や通勤といった手段で使われるケースが多く、新三田駅周辺に立ち寄らずに素通りするだけになってしまっている。

新三田駅周辺の武庫川は徒歩 5 分もせずに行くことができるので、利用客の足を向けることができる。



写真：新三田駅前ロータリーの様子

②三田は自然が魅力

・三田市の統計書によると、平成 26 年度の観光客 344 万人中、51,4%、つまり半数以上が自然目的で三田に来ている。(※ 1)

・学生アンケートで三田を魅力的・やや魅力的と考える人の中で、「自然環境が魅力」と回答をしたのが 331 人中 91 人。(※ 2)

→三田の自然に対する評価は大きいため、その自然を生かしたものを考える

武庫川という自然を感じるスポットを有効活用しよう！！

(※ 1)注：平成 28 年度版三田市統計書「観光客数」における、「目的別観光客」の欄のうち「自然鑑賞」「公園・遊園地」「登山・キャンプ・ハイキング」「釣り」「観光農園」「グリーンツーリズム」の数値の合計

(※2)注：平成28年度三田市学生のまちづくりに関するアンケート

③既存の場所を使う

1 から新しく作るものではなく、今すでにある場所を少し工夫するだけでできる

→失敗のリスクが少ない

○なぜ食イベントをそこですのか？

・学生アンケートでの回答で、「食イベント」に参加したいという回答が40%もあり、1番多い祭り(68,4%)の次に大きい！

→食イベントは興味ある・ないが分かれにくいいため誰でも参加しやすい

・三田の農産物を活かすことによって三田に愛着を持ってもらえる

→少量多品目という三田の農産物の特徴を上手に活用できる！！

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現にいたるプロセスとマイルストーン等、アイデア実現までの大まかな流れについて、以下の欄内におさまるよう、簡潔にご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

企画開始からの期間	武庫川ひろば	食イベントなど
0～3 か月	・武庫川の現地調査(三田市と共同で) ・河川の権利者(県など)との交渉  写真：現在の花壇整備予定地	
4～6 か月	・ひろばづくり運営団体結成(SNS や駅前の広告などで、団体メンバーを募る) ・花植えに参加する幼稚園・小学校を募集	・レシピ開発に参加する市民・学生を募る ・運営団体結成(ひろばづくり運営団体と一緒にの団体。ひろばづくりとは別の班として活動。)
7 か月～9 か月	・河川敷の草刈り ↓ ・堤防沿いに花壇を整備(花を植えるのは、幼稚園児・小学生)	・市民・学生が共同で三田市の農産物使用のレシピ開発 ・レシピを SNS で発信するなどして、取り組みを PR
10 か月～1 年	・ベンチ・トイレ設置 ↓ ・ひろばづくり、水防掲示板設置 ↓ ・浅瀬づくり の順番で進める	・食イベントの開催(春夏秋冬 1 回ずつ) ・レシピを開発した市民・学生が、食をふるまう。
その他	・イルミネーションは秋に準備。 ・ひろばの清掃は、学生団体が担当。 花壇の水やり・管理は、地元の幼稚園児、小学生、園芸関係専攻の高校生が担当。	・1 年後以降、食イベントが軌道に乗り始めてから、農業、生き物ふれあい、音楽イベントを開催

(4) そのほか（公開）

アイデアのアピールポイントや、アイデア実現に当たっての制約があればそれとその当面の解決方法、さらに将来の発展可能性（例えば「将来的に xx という制約をクリアできれば、追加で ○○ ということが実現できる」など）について、以下の欄内におさまるよう、簡潔にご記入ください。

アピールポイント

★実現可能性高い★

- ・新三田駅活性化という三田市の課題と一致しているため、行政の積極的な支援・協力が受けられる。
- ・市の区画整備にあう。

⇒武庫川は県が管理しているが三田市を通じて申請を行えば利用が可能。

また現在三田市が区画整備事業を計画しており、協力して実施ができる。

- ・学生のニーズに合っているため運営の継続性が高い。

⇒三田の大学に通う学生の 82.4%がこのプロジェクトに関わるボランティアに好意的（独自アンケート調べ*）

*三田丸班が大学生 85 名に対して実施したアンケートで、三田の活性化に関わるボランティアを、「やりたい」もしくは「内容によってはやりたい」と回答した割合

現状の課題・制約と解決方法

★イベントにおける集客方法及び交通渋滞★

⇒JR・バスなどの公共交通機関を利用された方に食イベントで使えるクーポン券を配布。

JR・バスでの広報活動も行う。（電車・バスで車内放送し広報する）

将来の発展可能性

★農業体験イベント、武庫川広場で生き物ふれあいイベント・音楽イベントの開催★

Q なぜやるのか

A **さらなる集客**が見込めるから。（生き物イベントは子供や親子連れ、音楽イベントは学生をターゲットにできる）

A **武庫川周辺の地形を生かせ**、魅力が伝えられるから。（武庫川周辺には農家がある。武庫川の生態系も多彩）

Q このイベントの効果は？

A より**自然を体感**できる。

A 三田の**農産物のブランド力向上・就農者確保**（農業イベント）

A **多世代の交流**が活性化される。

★カフェなどの商業施設を呼び込む★

Q なぜやるのか

A 商業施設は持続的に駅周辺に人が留まる場所となるから。

Q どういった形でやるのか

A 武庫川周辺に店舗を構えることができればよいが難しければ食品移動自動車で飲み物を出す形も考えている。